

## I. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

昨年起こった最も大きなニュースのひとつは皇位継承が行われ、時代が平成から令和に変わったことだろう。現在の日本において皇位継承の方法は皇室典範で定められており、争いが起こることは考え難い。しかし歴史を見ると統治者や国の代表の交替は時に社会を大きく揺るがしてきた。それは国の盛衰や統治の正統性に関わる重要な問題だからである。

中国の歴史は王朝の変遷だと言っても過言ではない。古代中国の伝説的帝王、堯、舜、禹はそれぞれ次の王に位を譲ったと言われている。諸子百家のうち (1) (2) の一人で (3) (4) を理想とした孟子は王朝交替の理論として易姓革命をとらえた。交替の形式は2つあり、武力によるものを (あ) (い) と呼んだ。歴史的には最初に (い) の形式をとって王朝を交替したのは (5) (6) を建国した王莽である。以降、魏から北宋まではしばしばこの平和的な形式で王朝が交替した。

王朝の交替は大きな変化ではあるが、新しい王朝が正統とみなされるためには継続性の主張も重要である。ヨーロッパでは統治の方法であれ、文化であれ、<sup>(a)</sup>ローマ帝国を継承していることが重視された。またイスラーム世界では預言者ムハンマドの血を引いていることや、もともとは異教徒であるが<sup>(b)</sup>モンゴルにつながる系譜を持っていることが統治者として大きな意味を持つこともあった。

王位継承をどのように行うのかはどの国においても悩みの種であろう。イスラームの初期において預言者の後継者(カリフ)を選出する際には話し合いや指名などの方法をとったが、(7) (8) からはカリフ位が世襲となった。王位継承をめぐる争いも数多く起こっている。有名な百年戦争はイギリス王(9) (10) 3世がフランスの王位継承権を主張してフランスに侵入したことがきっかけになっている。また18世紀はじめのヨーロッパではスペインで断絶した(11) (12) 家の王位をめぐるスペイン継承戦争が起こり、<sup>(c)</sup>周辺諸国もこの争いに加わった。その結果、1713年に(13) (14) 条約が結ばれ、ルイ14世の孫の(15) (16) 5世の王位継承が認められたが、条約を結ぶにあたって領土のやり取りも行われ、植民地を得たイギリスが国力を伸ばした。このように、<sup>(d)</sup>ヨーロッパ諸国の王位継承はしばしば国際問題となった。ヨーロッパ諸国がアジアで植民地を獲得する際に現地の王国の王位継承問題を利用することもあった。たとえば東南アジアでは1819年にイギリス人(17) (18) が上陸し、1824年にイギリス領となったシンガポールを得ることができたのも、現地の王位継承問題を利用したことが一因である。

決して望ましい形ではないが、暗殺によって統治者や国の代表が交替することも珍しくはない。アレクサンドロス大王が若くして(19) (20) 王国の王に即位したのは父の(21) (22) 2世が暗殺されたためである。またイスラーム初期における4人の正統カリフは1人を除いて全て暗殺・殺害された。このうち、第4代正統カリフのアリーとその子孫を正統な指導者と考える人々は後にシーア派を形成し、10世紀に建国された(23) (24) も統治者がカリフを称したためイスラーム世界に二人のカリフが並び立つことになった。フランスでは1589年にアンリ3世が暗殺されて(25) (26) 朝が絶え、(27) (28) 家のアンリ4世が王位についた。この新王は国家統一を優先し、(29) (30) に改宗した上で内乱をおさめるなど国の安定に大きく貢献したが、最後はカトリック教徒に暗殺された。世界に最も大きな影響を与えた暗殺のひとつは、1914年に(31) (32) の州都サライェヴォでオーストリアの帝位継承者夫妻が殺された事件だろう。この事件をきっかけとして第一次世界大戦が勃発した。暗殺と

いう手法で社会を変える行為は第二次世界大戦後も続き、1948年にインドのガンディーが (33) (34) に、1995年にはイスラエル首相のラビンが (35) (36) 過激派に暗殺されるなど、政府を代表する人物の暗殺が各地で起こっている。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (35) (36) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (1) ～ (36) にマークしなさい。

- |            |             |            |            |
|------------|-------------|------------|------------|
| 11 アイユーブ朝  | 12 アッバース朝   | 13 アルバニア   | 14 イスラーム教徒 |
| 15 ヴァロワ    | 16 ウェストファリア | 17 ウマイヤ朝   | 18 エジプト    |
| 19 エドワード   | 20 王道政治     | 21 カトリック   | 22 カペー     |
| 23 カルロス    | 24 カロリング    | 25 ギリシア    | 26 クロアチア   |
| 27 後ウマイヤ朝  | 28 ジェイムズ    | 29 シク教徒    | 30 シャルル    |
| 31 儒家      | 32 ジョアン     | 33 商       | 34 新       |
| 35 スタンリー   | 36 スチュアート   | 37 正統カリフ時代 | 38 セルビア    |
| 39 楚       | 40 ダレイオス    | 41 道家      | 42 覇道      |
| 43 ハプスブルク  | 44 パレスチナ人   | 45 非攻      | 46 ピレネー    |
| 47 ヒンドゥー教徒 | 48 ファーティマ朝  | 49 フィリッポス  | 50 フェリペ    |
| 51 フェルナンド  | 52 プトレマイオス  | 53 ブルボン    | 54 プロテスタント |
| 55 ブワイフ朝   | 56 ペルシア     | 57 ボスニア    | 58 墨家      |
| 59 マケドニア   | 60 メディチ     | 61 メロヴィング  | 62 ユグノー    |
| 63 ユダヤ人    | 64 ユトレヒト    | 65 ラッフルズ   | 66 リビングストン |

問2 文中の（あ）と（い）にあてはまる最も適当な語句を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部（a）に関連して、西暦800年にカールにローマ帝国の帝冠を与え、西ローマ帝国の復活を宣言した教皇は誰か、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（b）に関連して、14世紀後半から16世紀はじめにかけて、中央アジアやイランを中心にイスラーム世界東部を支配した王朝の首都だった都市の名前を2つ、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部（c）に関連して、この戦争と並行して北アメリカでイギリスとフランスの間で起こった戦争の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部（d）に関連して、特定の国の王位継承問題に周辺国が係わることはなぜ正当化できるのか、その理由を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

## II. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

2月14日はバレンタインデー、甘いチョコで甘い恋を一。チョコレートの原材料であるカカオはメキシコ南部を原産地とし、かつてはアステカ王国などの王や特権階級のみに限られた苦い飲み物であった。1521年に (37) (38) がこの地を征服すると、スペイン人は砂糖を入れて飲む方法を編み出した。これは、 (39) (40) が2回目の航海時にサトウキビの苗をアメリカ大陸に持ち込んだことが背景にある。やがてカカオの味はスペイン本土にも広まり、そしてルイ14世と結婚したスペインの王女、 (41) (42) は、フランス宮廷にカカオを脱脂して苦みを抑えたココアを嗜む習慣を浸透させた。ルイ14世は (43) (44) を登用し、<sup>(a)</sup>重商主義政策を展開した。絶対王政を強化するため、ココアなどの独占製造・販売権を特定の商人に与えたり、分業生産する (45) (46) の育成に努めたりした。

これらカトリックの国々とは異なる道を歩むのが、1609年に (47) (48) から独立したオランダや、 (49) (50) が重商主義化を推し進めたイギリスである。イギリスでココアが飲まれるようになるのはピューリタン革命の頃である。同時期、プロテスタントの一派であるクエーカー教徒は信仰を広めていったが、王政復古期に弾圧され、その後も職業が限定されたため、実業家になる者が多かった。彼らは信仰を核に禁欲的な生活をし、経済的成功を収める者が現れるようになった。ドイツの社会学者の (51) (52) は『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の中でこのことに言及している。後にキットカットを発売するロントリー社もクエーカー教徒の創業である。クエーカー教徒らは新興の産業資本家層として台頭し、 (53) (54) らは反穀物法の運動を起こした。穀物法が廃止された翌年の1847年には、ココアとは逆に、油分を加え食べやすくしたチョコレートが開発された。ただ、一般に広まるのはまだ先の話である。なお、日本では1918年に森永製菓の田町工場でチョコレートの一貫製造が始まった。イギリスでは、 (55) (56) が実用化した蒸気機関車が製作されたため大量輸送が可能になり、やがてチョコレート工場は郊外に建設された。

これに対し、同時期にココアを取り扱っていた<sup>(b)</sup>ベルギーやフランスでは事情が異なっていた。チョコレートの商圏はローカルにとどまり、職人技のチョコレートが発達していった。その後ベルギーのチョコレートは万国博覧会で注目を集め、世界で売上を伸ばした。そして1974年にはアメリカのキャンベル・スープ社がベルギー発祥のチョコレート・メーカーであるゴディバ社を買収した。さらに21世紀になると、<sup>(c)</sup>欧米以外の地域で経済成長する国が現れた。2007年にトルコの食品大手企業がゴディバ社を買収したことは、このような変化を象徴していると言えるだろう。

現在では、インドネシアやアフリカもカカオの一大生産地である。現在のインドネシアを構成している地域のうち、ジャワ島の大半は18世紀半ばに (57) (58) の支配下に入った。この地では、1830年から (59) (60) を敷き、コーヒーや砂糖などの熱帯農産物の開発輸出の拡大を目指した。しかし植民地統治のもとで住民の生活は過酷になったため、20世紀に入ると民族運動が起こった。その中でも1910年代初頭に設立された (61) (62) はインドネシア最初の大衆的民族組織として運動を牽引した。アフリカには、奴隷貿易の逆ルートでカカオが伝わった。アフリカは、1884～85年の (63) (64) 会議を機に長らく<sup>(d)</sup>植民地化されてきたが、ようやく1957年に (65) (66) を指導者としてガーナが独立したのをはじめ、1960年に多くの独立国が生まれた。1963年には (67) (68) にアフリカの独立国代表が集まり、アフリカ統一機構が結成され、地域の連帯を目指した。ただし、これらの国々の中にはカカオ、コーヒー、サトウキビなど単一の農作物の生産に特化したため経済基盤が弱い国も多く、1964年

には (69) (70) が設立され、<sup>(e)</sup>先進国と新興独立国間における不平等な分業体制の是正を目指すようになった。近年では、発展途上国の生産者の利益を確保し、経済格差の是正を目指す (71) (72) の重要性が叫ばれている。

このように、チョコレートの歴史を通してみても、世界は以前よりもはるかにつながるようになったことが分かる。昨今の世界問題は、G8、新興経済国11か国および (73) (74) で構成されるG20の首脳会議で対応するようになった。昨年は大阪で開かれ、各国首脳へのお土産にゆずや日本酒味のチョコレートが選ばれた一さてさて、今宵は甘いチョコを召し上がれ。

問1 文中の空欄 (37) (38) ～ (73) (74) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (37) ～ (74) にマークしなさい。

- |               |               |               |              |
|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 11 アジア＝アフリカ   | 12 アフリカ開発会議   | 13 アフリカ連合     | 14 イギリス      |
| 15 イサベル       | 16 インドネシア国民党  | 17 ウィーン       | 18 エチオピア     |
| 19 エンクルマ      | 20 オーウェン      | 21 欧州連合       |              |
| 22 王立マニファクチュア |               | 23 オコンネル      | 24 オランダ      |
| 25 価格統制       | 26 ガーナ        | 27 機械制工場      | 28 クロムウェル    |
| 29 ケニア        | 30 国連貿易開発会議   | 31 コルテス       | 32 コルベール     |
| 33 コロンブス      | 34 サレカット＝イスラム | 35 自由貿易体制     | 36 新興工業経済地域  |
| 37 スティーヴンソン   | 38 スペイン       | 39 政府栽培制度     | 40 セク＝トゥーレ   |
| 41 タンザニア      | 42 デューイ       | 43 テュルゴー      | 44 東南アジア諸国連合 |
| 45 問屋制家内工業    | 46 ノーフォーク農法   | 47 バルボア       | 48 ピサロ       |
| 49 フェアトレード    | 50 ブディ＝ウトモ    | 51 ブライト       | 52 フランス      |
| 53 フルトン       | 54 分益小作制      | 55 ベルリン       | 56 ベンサム      |
| 57 ポルトガル      | 58 マゼラン       | 59 マックス＝ヴェーバー |              |
| 60 マリ＝テレーズ    | 61 マリ＝ルイーズ    | 62 南アフリカ      | 63 ルイ＝ブラン    |
| 64 ルムンバ       | 65 ロンドン       | 66 ワット        |              |

問2 下線部（a）に関連して、重商主義政策の初期に主にスペインなどで見られた重金主義とは何か、解答用紙Bの所定の欄に20字以内で記入しなさい。

問3 下線部（b）に関連して、イギリスで産業革命の速度が他国より速かったのはなぜか。労働力の観点からその理由を解答用紙Bの所定の欄に30字以内で記述しなさい。

問4 下線部（c）に関連して、BRICSと総称されている5か国のうち、Sで表されている国名は何か、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部（d）に関連して、この会議でベルギー国王の所有地として設立が認められた国の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部（e）に関連して、この構造を論じた理論を何と言うか、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

### Ⅲ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

君たちが商学部に入學したら学ぶ、近年の国際社会における経済や産業、企業経営のダイナミックな展開は、「石油」の存在を抜きには語れない。ここではその石油を軸に近年の世界の歴史を振り返ってみよう。

1859年、世界初の石油の商業生産はアメリカで始まった。のちに石油王として知られる (75) (76) もほぼ同時期に石油精製会社をスタートさせている。彼は南北戦争後の (77) (78) 政権の保護政策と、石油をエネルギーとして用いる重化学工業を中心とした第2次産業革命の流れに乗り、(79) (80) と呼ばれる経営手法で中小の石油会社を吸収・合併し、会社を巨大化させることに成功した。

石油はその後、アジアや中南米、中東などでも開発されたが、その利権は先進国が保持することが多かった。たとえば、産油国の一つであるイランでは、第一次世界大戦後、レザー＝ハーンが実権を握り、1925年に (81) (82) 朝を廃して新たな王朝を開いた。彼はトルコにならって近代化に努めたが、石油利権は (83) (84) が保持し続けた。このため、第二次世界大戦後の1951年、民族運動の高揚の中で (85) (86) 首相が石油国有化法を定め、(87) (88) 石油会社の資産を接収した。しかし列強各国との関係が壊れることを恐れた国王がクーデタをおこし、1954年にアメリカを中心とする国際石油会社と協定を結び、民族運動を抑え、石油からもたらされるオイルマネーを用い、(89) (90) と呼ばれる近代化をおしすすめた。

石油を燃料にした戦車や飛行機の有効性が第一次世界大戦で明らかになったこともあり、第二次世界大戦では、石油資源の確保が戦術上、重要になった。たとえば日本は、1940年9月にインドシナ北部に進駐し、翌年4月に (91) (92) をむすんで北方の守りを固めると、1941年7月には (93) (94) 政府の承認を受けて南部にも進出し、東南アジアの石油資源獲得の機会をうかがった。日本の南方進出の意図が明らかになると、アメリカは態度を硬化させ、8月に石油の対日輸出を禁止した。東南アジアに植民地を持っていたイギリス、(95) (96) もこの動きに同調した。この時日本の総理大臣で、「大東亜共栄圏」構想を打ち出していた (97) (98) は、日米首脳の頂上会談を申し入れたが結局実現しなかった。日本は同年12月に始まった太平洋戦争中、ゴムや石油など資源が豊富な東南アジアを占領した。

第二次世界大戦後は多くの産油国が独立したが、油田の探査から採掘、輸送、精製、販売まで、すべての技術や知識を先進諸国が独占していたため、(a)産油国の力は依然として弱かった。このため、中東や南米の産油国はその地位向上のため、1960年にOPECを、そして1968年にはOAPECを組織した。この2つの組織が力を発揮するのは、1973年にエジプト、(99) (100) とイスラエルの間でおきた第4次中東戦争の時、(b)この時生じた第1次石油危機から、先進諸国は自分たちの経済が石油に依存していることを知ることになった。

中東産油国の混乱は世界を揺るがせ続けた。1979年のイラン革命の際には第2次石油危機が生じ、1980年から88年までの(c)イラン＝イラク戦争ではペルシア湾を航行するタンカーが危険にさらされた。このため先進諸国では、減税や規制緩和による民間経済の活性化を目指す政策がとられるようになった。アメリカでは1981年に大統領に就任したレーガンが (101) (102) を唱え、同様な政策は(d)イギリスの保守党政権、西ドイツの連立政権、日本の自由民主党政権でも行われた。中東では石油をめぐる対立がその後も続き、イラクは1991年に (103) (104) に侵攻し、湾岸戦争が勃発した。

以上のように、1970年代には発展途上国の中に、オイルマネーで潤う産油国が登場し、先進国と対峙する一方で、経済発展から取り残される途上国も存在し、途上国の間で経済格差が生じた。ただ産油国でも石油

だけに多くを依存した (105) (106) 経済の国では、世界情勢によって国内経済が左右されることも多い。たとえば1930年代に (107) (108) 大統領の下、外国石油資本の国有化などの政策により政治の安定がもたらされていたメキシコでは、1970年代における2回の石油危機から債務危機に陥った。

最近では地球環境に対するダメージを心配する国際世論の高まりとともに、温室効果ガスの排出量が多い石油への規制を強める動きが広がっている。たとえば、1994年に (109) (110) が採択され、この条約に基づいて1995年から毎年、国際会議が開催されるようになった。1997年に開催された第3回会議では、先進国に温室効果ガスの排出量削減を求める (111) (112) が採択された。

石油は現代の世界の経済問題から企業経営、環境問題まで、商学部で学ぶあらゆることに関係している。大学に入学したら、知識を断片的に覚えるだけではなく、横断的な視点で世界を眺める力を養ってほしい。

問1 文中の空欄 (75) (76) ～ (111) (112) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (75) ～ (112) にマークしなさい。

- |                  |                |               |           |
|------------------|----------------|---------------|-----------|
| 11 アフシャー         | 12 アメリカ        | 13 アングロ＝イラニアン | 14 イギリス   |
| 15 イラニアン＝コンソーシアム |                | 16 イラニアン＝ライト  | 17 イラン    |
| 18 ヴァルガス         | 19 ヴィシー        | 20 「大きな政府」論   | 21 オランダ   |
| 22 カージャール        | 23 カタール        | 24 カーネギー      | 25 カルデナス  |
| 26 カルテル          | 27 気候変動枠組条約    | 28 京都議定書      | 29 共和党    |
| 30 クウェート         | 31 国連環境計画      | 32 近衛文麿       | 33 コンツェルン |
| 34 サブカルチャー       | 35 幣原喜重郎       | 36 自由党        | 37 自由フランス |
| 38 自由放任主義        | 39 シリア         | 40 新自由主義      | 41 スペイン   |
| 42 タンジマート        | 43 ディアス        | 44 ドイツ        | 45 東条英機   |
| 46 トラスト          | 47 ナセル         | 48 日独伊三国同盟    | 49 日独防共協定 |
| 50 日ソ中立条約        | 51 ニューフロンティア政策 |               | 52 白色革命   |
| 53 パフレヴィー        | 54 パリ協定        | 55 バーレーン      | 56 フセイン   |
| 57 プランテーション      | 58 民主党         | 59 モーガン       | 60 モサデグ   |
| 61 モノカルチャー       | 62 モントリオール議定書  |               | 63 ヨルダン   |
| 64 レバノン          | 65 ロシア         | 66 ロックフェラー    |           |

問2 下線部（a）に関連して、「産油国の力が弱い」とは具体的にどういうことなのか。解答用紙Bの所定の欄に20字以内で記入しなさい。

問3 下線部（b）に関連して、この時にアラブ産油国がとった石油戦略は何か。解答用紙Bの所定の欄に20字以内で説明しなさい。

問4 下線部（c）に関連して、この戦争が勃発した理由は何か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部（d）に関連して、それぞれの政権の首相は誰か。答えはイギリス、西ドイツ、日本の順で解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。